

# 2019年度 学校評価（自己評価）

横浜隼人中学・高等学校

## 1. 学校は学科やコースの特性に応じた教育を実践している

生徒も保護者も80%以上が良好な回答をしています。昨年に比べ生徒の評価も4%近く上がっています。各コースが目標に沿った指導ができていることが評価されたと思われます。今年度は進学実績も上位層を中心に全体的に良い結果（東京大学本校初の合格、国公立大学医学部3名合格など）ができています。これに満足することなく、進路指導を中心に力を入れていきたいと考えます。

## 2. 学校は緊急時の対応について必要な訓練や指導をしている

主に年2回実施する避難訓練を通しての評価と思われれます。しかし、それ以外にもホームルームを通して災害に対する認識を深めていく必要があります。昨年と同様に教員の半数が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答しているのは、災害時の備品などの保管場所が周知されていないからと思われれます。教員に対する災害意識を高めていきたいと思えます。

## 3. 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる

生徒の回答と教員の回答に1割程度の差異があります。また3割弱の生徒がいじめに対する学校の指導に良好な回答をしていません。まだまだ目の届かないところがあるように思えます。今以上に教員個々が生徒一人一人に目を配り、コース会議や学年会議など通じて、教員間で生徒の情報を共有して、早い段階での対応を心がけていく必要を感じています。

## 4. 学校は校内や通学時の安全に常に配慮している

「登下校の指導」「交通安全講習会（高校1年）」「自転車通学者の安全講習」等を通して安全な登下校に取り組んでいます。また交通トラブルが発生した際は、生徒への連絡や、場合によっては集会などを行い情報の共有化を図っています。それでも、歩行中に事故に巻き込まれることもありました。最近では自転車による事故が増え、被害者になるだけでなく加害者になるケースもあり、この点も徹底して指導しています。登下校の安全確保にさらに努めていきたいと思えます。

## 5. 学校は個々の生徒の進路に適した教育課程を用意している

本校ではコース制や細かい選択科目を配置することにより、一人一人の進路に適した学習指導を行っています。しかし、生徒の3割近くが「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の評価をしている点を真摯に受け止め、教科内容の質的向上をめざし、進路との結びつきも検討していく必要があります。

## 6. 学校は進路について個々の生徒に対して丁寧な指導をしている

生徒・保護者に対する進路説明会や三者面談等が適切に行われていることで、生徒・保護者から一定の評価がなされています。また担任との二者面談も頻繁に行っております。

しかし、今ひとつ本校の「面倒見の良さ」が伝わっていないように思われます。また、教員間でも進路に関する打ち合わせをしていますが、教員個々の経験値の差にも問題があ

と思います。教員全体の指導力を向上させ、生徒の進路に結びつけていきたいと思ひます。

## 7. 学校での授業や補習はわかりやすく、学力向上に結びついている

生徒、保護者のアンケートでは昨年に比べ4%近く向上していますが未だ3分の1以上が否定的な結果です。生徒の学習に対する意識や教員の授業力の向上に大きな課題があります。生徒と教員が互いに目的意識を明確にし、進路に向けてともに授業を作り上げていく必要があります。教員研修や教科会などを通して授業力の改善、向上に努めます。

## 8. 学校は教科に関する個別の質問に熱心に対応している

生徒の評価は8割近くで高評価です。保護者の評価でも7割以上の評価が得られています。本校の「面倒見の良さ」が伝わっているように思われます。ただ、教員は9割と懸命に取り組んでいるつもりなのですが、まだまだ熱意が伝わっていません。最近、本校生徒の自学自習する姿勢が高まっていることも一因かもしれません。しかし、今後も一層丁寧に個々の質問対応に心がけていきたいと思ひます。

## 9. 学校は生徒の悩みや相談に親身になってくれる

生徒は4分の3の生徒が良好な評価をしています、残り4分の1の生徒に十分なアプローチができていない結果となりました。一方で教員は9割が良好な結果となっています。教員は親身になっているつもりでも伝わっていないように思われます。個々生徒への寄り添いやアプローチの方法について改善していきたいと思ひます。また、普段の生徒の様子をしっかりと観察し、適切な指導に結びつけていくことを心掛けます。

## 10. 学校は生徒に規律ある姿勢や態度を育てる指導をしている

生徒一人一人が公共心を持ち、また保護者の方々のご指導で規範意識の高い生徒が多いと思ひます。部活動の加入率も高く、誰に対しても気持ち良く挨拶ができる生徒が増えてきています。素直な生徒が本校は多く、自分自身を高めていこうという意識が高いため規律ある学校生活を過ごせていると考えられます。

## 11. 学校行事は内容が充実しており、適切な時期に実施している

昨年に比べ、生徒評価が数%上がりました。他者への思いやりや主体性、協調性を育てていくことが学校行事の役割であると考えます。適切に授業時間を確保しながら生徒にとって充実感を持てる行事を模索していきたいと思ひます。

## 12. 学校は部活動・委員会活動・特別活動等に積極的に取り組ませている

本校は部活動の加入率も高く、積極的に活動しています。また、委員会活動やボランティア活動にも自主的に参加する生徒が増えてきていることも結果に表れています。引き続き学校としてはバックアップしていきたいと思ひます。

## 13. 学校には教育に必要な施設・設備が整っている

教員と保護者の評価が相反する結果となっています。教員は教育環境を今以上に改善し、生徒のために更なる学習環境の向上を望んでいることが読み取れます。一昨年よりICT教育環境整備を進め、生徒の学習状況を充実させるように取り組んでいます。非常時に対しても十分活用できるように推進していきたいと思ひます。

#### **14. 学校は衛生的できれいな環境を整えている**

三者ともほぼ良い評価となっています。2年前に本館トイレの改修を終え、業者清掃や普段の清掃活動を通して衛生面を維持しています。また美化委員による活動は衛生面だけでなく、学校全体のマナーの向上にもつながっています。快適な学校生活を送る意味でも「清潔な学校」を維持することが大切です。これからは特に教室や共有箇所の消毒面に気を配り、感染対策に力を入れていきたいと考えております。

#### **15. 学校はホームページやお知らせメール等でよく情報を発信している**

保護者の9割近くに評価されています。本校ではホームページを通して学校全般の活動を積極的に発信しています。またメール配信によって配布物の確認、緊急時の連絡なども行っています。スタディサプリやG Suiteも積極的に活用しています。今後ご家庭との情報共有の架け橋になるように発信していきたいと思っております。

#### **16. 必要に応じて学校と家庭の連絡がとられている**

保護者の8割以上から評価されています。本校では学校生活の中で気に掛かることやトラブル、悩みを抱えているときにはご家庭に連絡をしています。生徒を少しでも良い方向に導いていくためにはご家庭と学校が車の両輪となって協力していくことが大切です。そのためにもご家庭との連絡をより密にしていきたいと思っております。

以 上